

AI エンジン EISS で迅速・知的な検索を！

仕事の中に

あの資料どこにしまったかな？
これに似た事例がなかったかな？

と思ったことはありませんか？

そんな時に

AI エンジン EISS* を使えば、質問の文意を踏まえて多くの情報から素早く欲しい情報を見つけることができます！

● 使うのは簡単！

1. パソコンに EISS をインストールします。
2. イン트라ネットやファイルサーバにあるドキュメントを EISS に読み込ませます。
EISS が入力された文の構文解析を行い、体系化した知識の集合として記録します。データベース等の知識は一切不要です。
3. 5W1H 型の質問にも答えることができるので、幾つものキーワードを用いる必要はありません。
4. 検索は簡単なスクリプトに記述することで、一括処理、繰り返し処理ができます。
5. 複数の検索結果をグループにまとめ、グループどうしの論理演算や相関関係の解析ができます。
6. 源泉資料を参照できるので検索対象だけでなく、事柄の経緯等を知ることができます。

* EISS : Efficient and Intelligent Search by Script

【実 例】

平成29年から令和2年までの労働災害事例（出典：厚生労働省職場の安全サイト）から色々な方法で検索をしてみます。

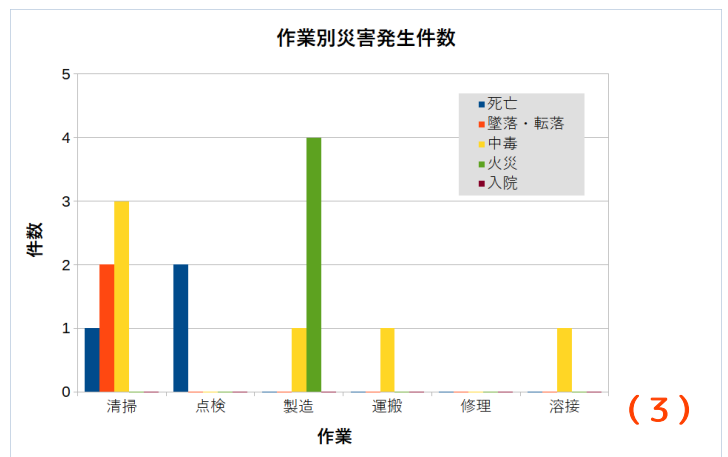


(1) 転落・墜落事故の事例を「墜落」で検索すると22の文がヒットしますが、「何から墜落したか。」と具体的な状況を含めて質問すると3例に絞り込むことができます。検索結果のリンクから源泉資料を参照することも可能です。

(2) また中毒による死亡災害例を検索するために「死亡」と「中毒」で検索した結果を保存し、両者の論理積を取ることで事例を絞り込むことができます。

(3) さらなる応用例として、災害の種別をキーワードとして検索した結果のグループ{死亡、墜落・転落、中毒、火災、入院}と作業内容による検索結果のグループ{清掃、点検、製造、運搬、修理、溶接}を比較することで、2次元要素の相関関係の傾向を知ることができます。

このように EISS を使えば知りたい情報を簡単に効率良く得ることができます。



その他の応用例

- § 労働災害事例 ⇒ ヒヤリハット、KYT
- § 不具合事例 ⇒ 故障探求、トラブル対処、タスク集
- § 係争案件 ⇒ 解決に向けての交渉、法的解釈 等々